

2023.03.07

令和4年度漁港漁場講習会

機能保全計画における 日常点検の実施

(一社) 水産土木建設技術センター
完山 暢

ストックマネジメントについて

日常管理計画と日常点検

日常点検に必要な知識

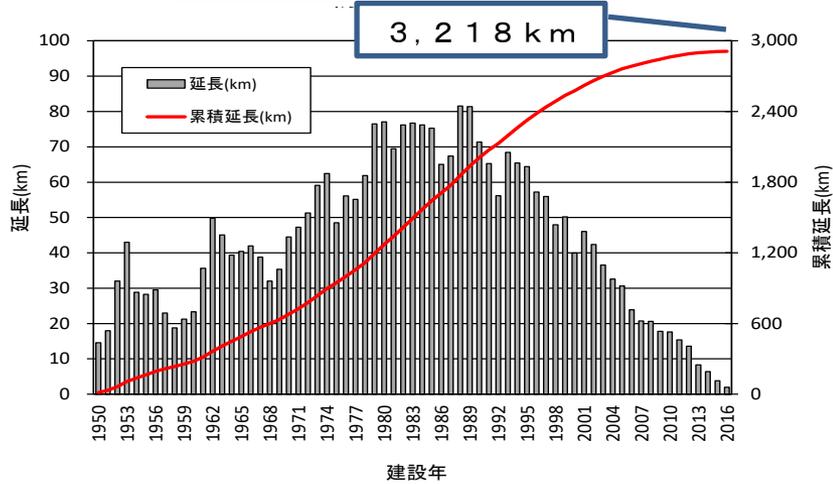
日常点検の実施

事前準備・点検作業・結果の記録

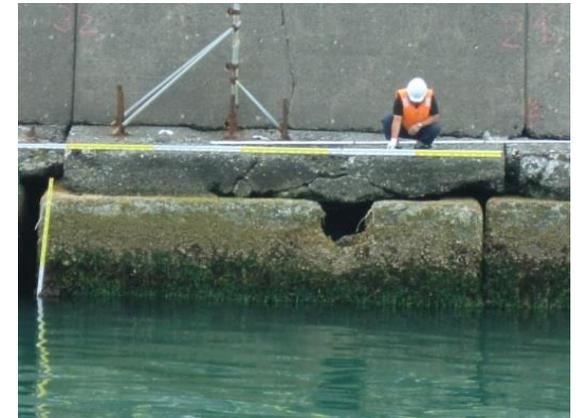
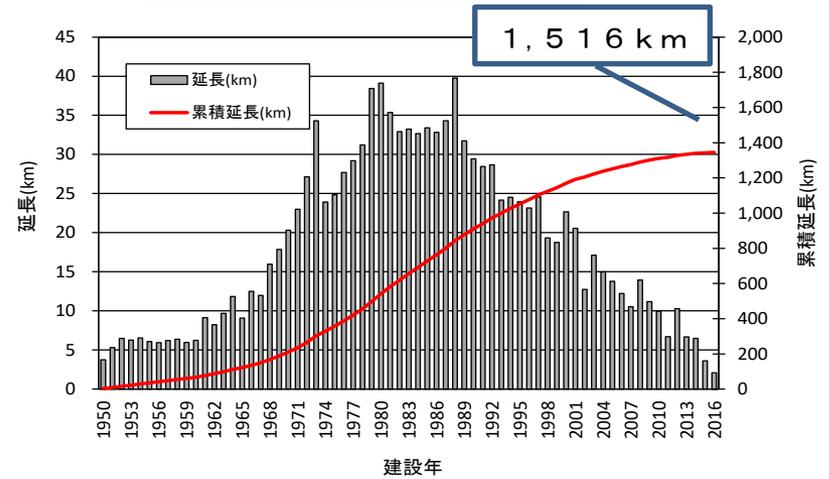
ストックマネジメントについて

■ 漁港施設の現状

漁港施設（防波堤等）の整備量



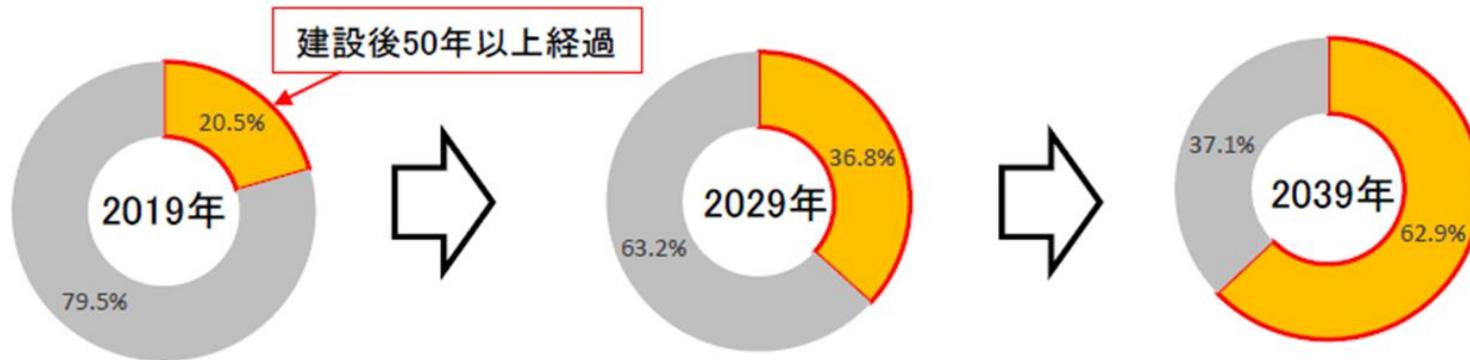
漁港施設（係留施設）の整備量



ストックマネジメントについて

■ 漁港施設 今後の見通し

《外郭施設》



《係留施設》



※建設年次不明の施設については除外している

1970～80年代に建設された施設が耐用年数を迎える

ストックマネジメントについて

■ 水産基盤ストックマネジメント事業 (水産物供給基盤機能保全事業)

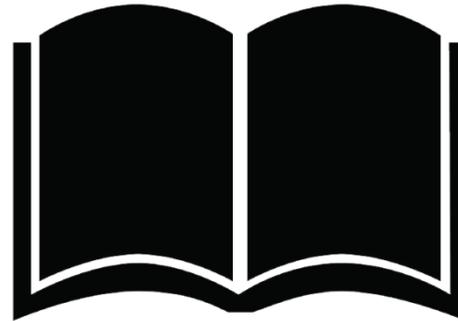
◆ 機能保全計画の策定



◆ 機能保全計画に基づく保全工事



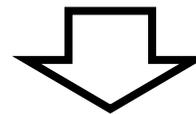
事後保全から予防保全へ



水産基盤施設ストックマネジメントのためのガイドライン



水産基盤施設機能保全計画策定の手引き



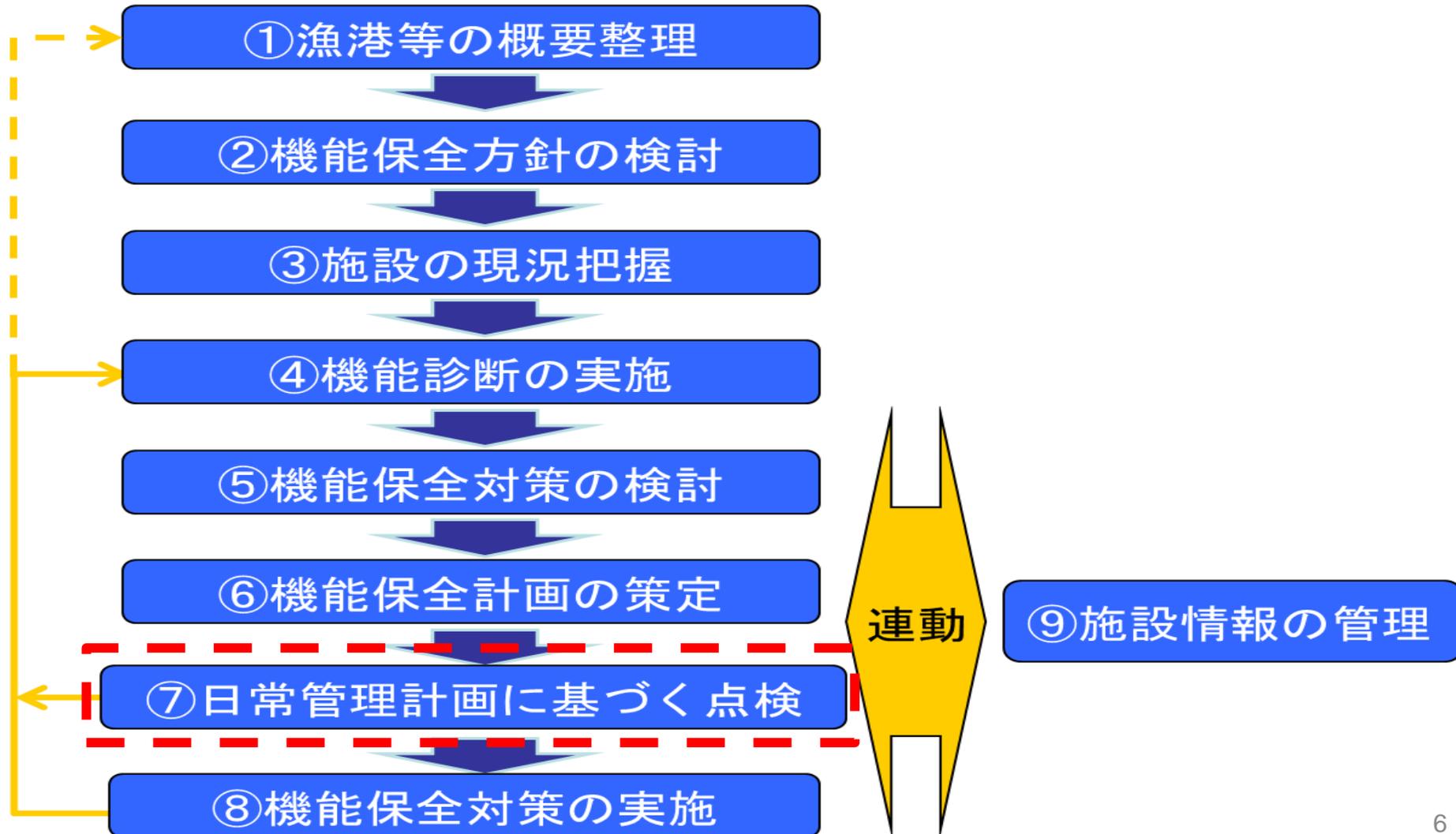
水産基盤施設ストックマネジメントの基本的な考え方を記載



機能保全計画を策定する際に必要となる内容や作成例を記載

ストックマネジメントについて

■水産基盤ストックマネジメントのフロー



ストックマネジメントについて

■ 水産基盤ストックマネジメントの対象施設

	対象施設	対象範囲
漁港漁場 施設	外郭施設	防波堤、防砂堤、防潮堤、導流堤、水門、 閘門、護岸、堤防、突堤及び胸壁
	係留施設	岸壁、物揚場、係船浮標、係船くい、棧 橋、浮棧橋及び船揚場
	水域施設	航路及び泊地
	輸送施設	道路及び橋
	漁港施設用地	用地護岸及び人工地盤
	漁獲物の処理、保蔵及び 加工施設	荷さばき所
	漁港浄化施設	公害の防止のための導水施設その他の浄化施設
	増殖場	消波施設等(消波堤、潜堤、離岸堤及び防 氷堤をいう。以下同じ)及び中間育成施設
	養殖場	消波施設等及び区画施設

R3から追加

日常管理計画と日常点検

■点検の種類：機能保全計画に沿った点検を実施する

※定期点検の頻度は後述マニュアルにより長期化の考えが示されている

日常・臨時点検

前点検結果からの
進行・新規変状を
記録

★変状有無を把握

定期点検

計画策定時と
同レベルの調査

★老朽化評価まで

点検の種類	目的・内容	実施時期、頻度等
日常点検	<ul style="list-style-type: none">・簡易調査において把握された老朽化の進行状況の確認、新たな老朽化の発見のため。・簡易調査（簡易項目）に沿った目視（陸上）調査。	<ul style="list-style-type: none">・概ね1年に1回以上。・臨時点検と併せ、1年に複数回実施することが望ましい。・漁業者等からの情報提供等により管理者等の体制を補完。
臨時点検	<ul style="list-style-type: none">・台風による高波浪の来襲後、一定規模以上の震度の地震発生後や船舶の衝突等事案が発生した場合、施設の変状、損傷の有無等の把握のため。・簡易調査（簡易項目）に沿った目視（陸上）調査。	<ul style="list-style-type: none">・事案発生後可能な限り速やかに。・地震の規模については管理者等で決定。
定期点検 ^{※1}	<ul style="list-style-type: none">・現行の機能保全計画書の見直しのため。・簡易調査（重点項目）を実施。必要に応じ詳細調査を実施。	<ul style="list-style-type: none">・水産物生産・流通拠点漁港における主要な施設については概ね5年に1回。・それ以外の漁港については、漁港等の機能の重要性を踏まえ、概ね5～10年の間隔で適切に設定。

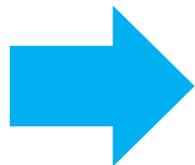
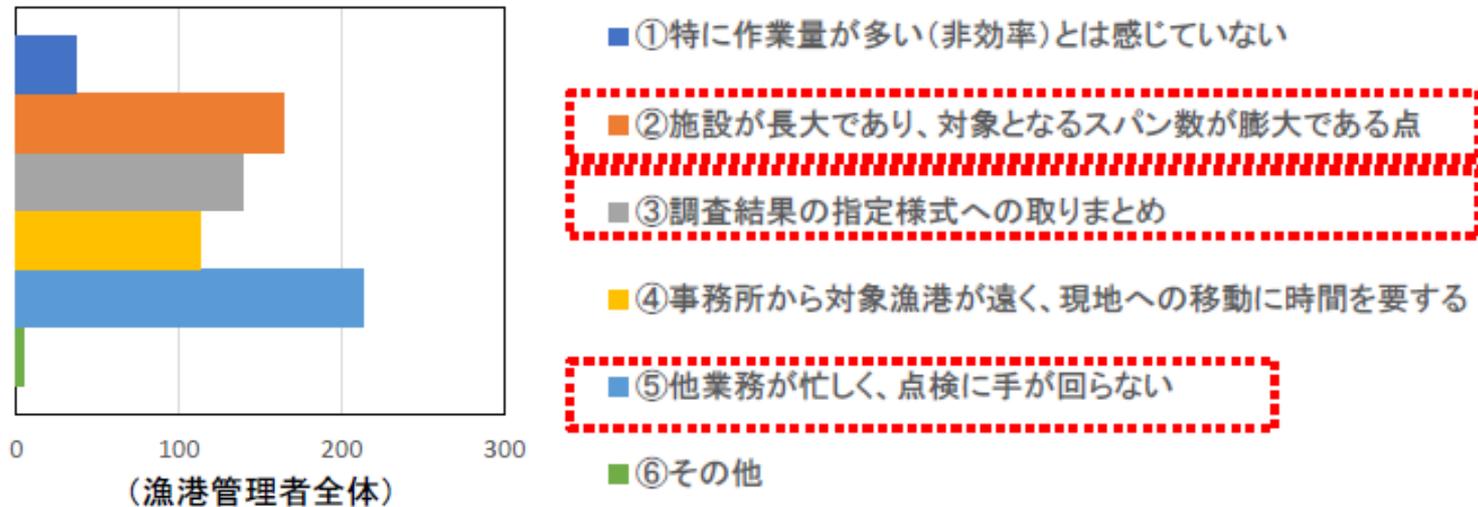
※「水産基盤施設ストックマネジメントのためのガイドライン（平成27年5月改訂）」より

日常管理計画と日常点検

■近年の動向①➡点検作業が漁港管理者の負担に

【R1年度 水産庁による漁港管理者へのアンケート結果】

Q: 日常点検の実施に当たって作業量が多い(非効率)と感じる部分があれば、それはどこでしょうか？(複数回答可)



管理者における業務の広範囲化や人員不足により、日常点検が負担と感じられている

日常管理計画と日常点検

■近年の動向②➡点検方法の効率化が進められている

H27公表の「水産基盤施設ストックマネジメントのためのガイドライン」や「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」にある点検方法を効率化

➡ 「水産基盤施設の維持管理点検マニュアル」(R2年9月) に沿った日常点検方法を紹介する

日常点検	目的	老朽化の進行確認、新たな老朽化の進行箇所の発見
	内容	代表的な老朽化の進行・新たな老朽化箇所の発見を目的とした踏査及び陸上目視 【健全度A・Bの施設】 ・代表スパンを選定し、写真撮影と状況の記録 ・踏査を行い新たに発見した変状の写真撮影と状況の記録 【健全度C・Dの施設】 ・踏査を行い新たに発見した変状の写真撮影と状況の記録
	実施範囲	全施設を対象
	実施時期	概ね1年に1回以上
	様式	見直した点検内容に沿った日常点検の新様式を使用する。 ・起点終点写真 ・変状写真(代表的な変状) ・変状の位置を示すスパン番号 「漁港施設の点検システム」の活用も考えられる。
	備考	漁港施設の利用頻度の高い漁業者に加え、建設業者等の利用者に施設の変状について情報提供してもらう協力体制を構築する。

日常管理計画と日常点検

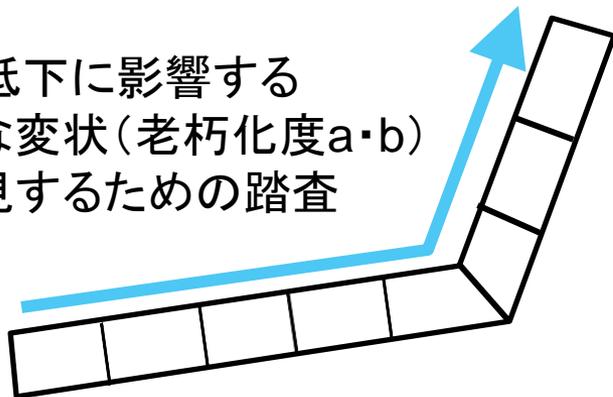
■新マニュアルにおける日常点検のポイント

「水産基盤施設の維持管理点検マニュアル」によって従来の日常点検は効率化が図られているが大きな効率化ポイントは2点

- ①記録シート(様式)の効率化 ⇒ 次頁以降で説明
- ②点検対象とする箇所・変状の重点化

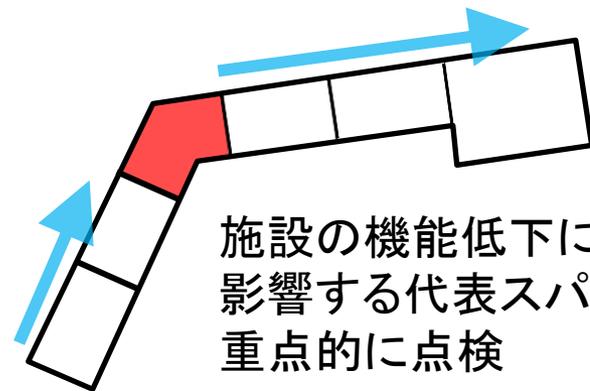
【比較的健全な(健全度C・D)施設】

性能低下に影響する
新たな変状(老朽化度a・b)
を発見するための踏査



【老朽化が進行した(健全度A・B)施設】

施設の機能低下に最も
影響する代表スパンを
重点的に点検



日常管理計画と日常点検

■ 点検に使う様式

様式1～9：『水産基盤施設機能保全計画策定の手引き』のⅢ資料編に記載され
水産庁HPよりPDFで取得可能

日常点検においては
『水産基盤施設の維持管理
点検マニュアル』に
記載の様式を使用する

様式 1-3：施設諸元等

様式 4：スパン割図

様式 5：簡易項目調査票

様式 6：簡易項目写真

様式 7：重点項目調査票

様式 8：重点項目写真

様式 9：老朽化度・健全度の評価

定期点検時の損傷図を元に
「様式4'」として活用

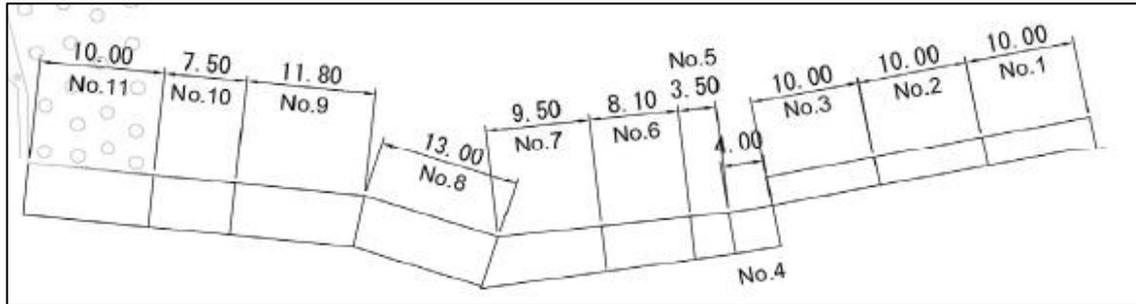
両様式を1つにまとめた新様式
「日常点検記入シート」で簡略化

日常・臨時
点検で活用

定期点検
で活用

日常管理計画と日常点検

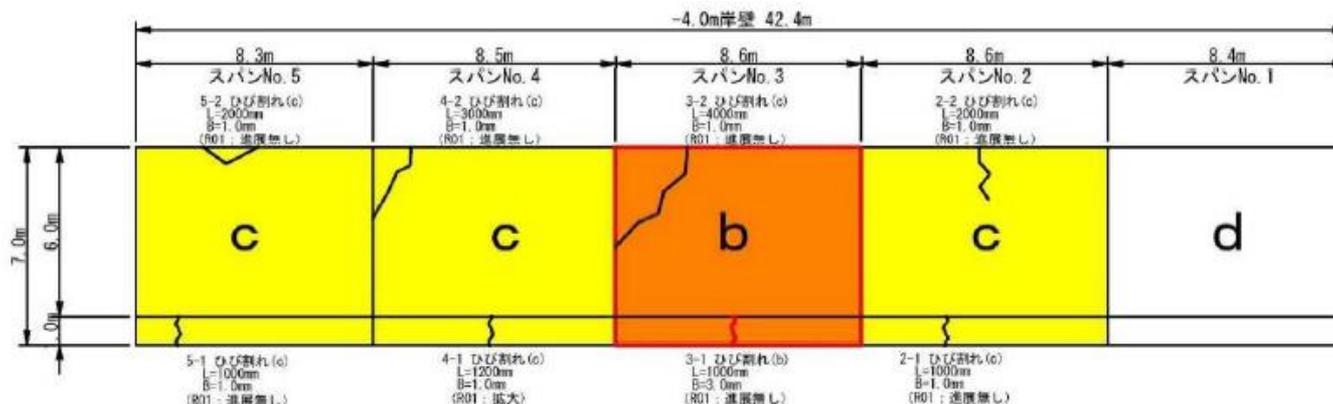
■「様式4'」について



従来の様式4:スパン割図



定期点検(または計画策定時)の
損傷図を元に「様式4'」を用意すれば、
スパン割に加えて損傷の位置・種類等
も把握できる



- 代表スパン
- 老朽化度:a
- 老朽化度:b
- 老朽化度:c
- 老朽化度:d

様式4'(変状図ベース)

日常管理計画と日常点検

新様式「日常点検記入シート」

【調査結果記入欄】

各項目に対して、該当する欄をチェックする。(例:)

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類		有無	状況(老朽化のあったスパンNO.、写真番号)
			移動	水平移動		
重力式防波堤 (消波堤)	施設全体	<input type="checkbox"/>	移動	水平移動	<input type="checkbox"/>	
			沈下	目地のずれ、段差		
	上部工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
	本体工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
矢板または杭 式防波堤 (消波堤)	防波堤法線	<input type="checkbox"/>	移動・沈下、損傷・亀裂		<input type="checkbox"/>	
			凹凸、出入り			
	上部工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
	矢板・杭	<input type="checkbox"/>	腐食、亀裂、損傷等		<input type="checkbox"/>	
浮防波堤 (消波堤)	ボツンク外部 (鋼製)	<input type="checkbox"/>	鋼材の腐食		<input type="checkbox"/>	
			ボツンク内部 (RC/PC製)			
	保留施設	<input type="checkbox"/>	磨耗、塗装、腐食		<input type="checkbox"/>	
	移動	移動量	<input type="checkbox"/>			
重力式護岸 (区画施設、 航路護岸、 泊地護岸)	施設全体	<input type="checkbox"/>	移動	移動量	<input type="checkbox"/>	
			沈下	目地のずれ、段差		
	本体工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
	上部工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
矢板式護岸 (区画施設、 航路護岸、 泊地護岸)	護岸法線	<input type="checkbox"/>	移動・沈下、損傷・亀裂		<input type="checkbox"/>	
			凹凸、出入り			
	上部工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>	
	矢板	<input type="checkbox"/>	腐食、亀裂、損傷等		<input type="checkbox"/>	

様式5(一部抜粋)

様式6(一部抜粋)

水産基盤施設簡易調査(簡易項目写真) 【様式6】

漁港名	構造形式	施設名	調査者氏名
調査者所属	調査を実施した全範囲	No. ~No.	老朽化確認 スパンNo. No.
損傷状況写真(調査位置にチェックを入れる。例 <input type="checkbox"/> 。変状、写真Noを()に記入する)			
<input type="checkbox"/> 施設全体、 <input type="checkbox"/> 法線、 <input type="checkbox"/> 上部工	<input type="checkbox"/> 施設全体、 <input type="checkbox"/> 法線、 <input type="checkbox"/> 上部工	<input type="checkbox"/> 施設全体、 <input type="checkbox"/> 法線、 <input type="checkbox"/> 上部工	
<input type="checkbox"/> 本体工、 <input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 消波工	<input type="checkbox"/> 本体工、 <input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 消波工	<input type="checkbox"/> 本体工、 <input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 消波工	
<input type="checkbox"/> エプロン、 <input type="checkbox"/> 背後地、 <input type="checkbox"/> 渡版等	<input type="checkbox"/> エプロン、 <input type="checkbox"/> 背後地、 <input type="checkbox"/> 渡版等	<input type="checkbox"/> エプロン、 <input type="checkbox"/> 背後地、 <input type="checkbox"/> 渡版等	
<input type="checkbox"/> 航路、 <input type="checkbox"/> 泊地、 <input type="checkbox"/> 附帯施設	<input type="checkbox"/> 航路、 <input type="checkbox"/> 泊地、 <input type="checkbox"/> 附帯施設	<input type="checkbox"/> 航路、 <input type="checkbox"/> 泊地、 <input type="checkbox"/> 附帯施設	
老朽化 ()	老朽化 ()	老朽化 ()	
写真No. ()	写真No. ()	写真No. ()	

写真の撮影位置に該当するものにチェックする。

水産基盤施設日常点検記入シート 【①外郭施設(重力式・矢板式・杭式)】

調査結果記入シート:健全度の評価単位で作成 直近の定期点検実施日:平成 年 月 日(健全度)

調査年月日:令和 年 月 日 天候:晴 曇 雨

漁港名: 構造形式: 調査者所属: 調査者氏名:

施設名: 調査対象範囲:

新様式(一例)

各項目に対して、該当する欄をチェックする。(例:)

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類		有無	状況(スパンNO.)		
			移動	水平移動				
重力式防波堤 重力式護岸	施設全体	<input type="checkbox"/>	移動	水平移動	<input type="checkbox"/>			
			沈下	目地のずれ、段差				
矢板式防波堤 杭式防波堤 矢板式護岸	施設法線	<input type="checkbox"/>	移動・沈下、損傷・亀裂		<input type="checkbox"/>			
			凹凸、出入り					
共通	上部工	<input type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷		<input type="checkbox"/>			
			腐食・亀裂・損傷等					
護岸の場合	背後地	<input type="checkbox"/>	陥没、吸出し		<input type="checkbox"/>			
			防舷材				損傷、変形、腐食、破損等	
附帯施設	係船柱・係船環	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等		<input type="checkbox"/>			
			車止め				損傷、変形、腐食、破損等	
			照明設備				損傷、変形、腐食、破損等	
			排水設備				損傷、変形、腐食、破損等	
			階段・梯子				損傷、変形、腐食、破損等	

老朽化: () 写真NO.1

調査位置: (スパンNO.)

所見:

撮影年月日: 令和 年 月 日

老朽化: () 写真NO.2

調査位置: (スパンNO.)

所見:

撮影年月日: 令和 年 月 日

老朽化: () 写真NO.3

調査位置: (スパンNO.)

所見:

撮影年月日: 令和 年 月 日

老朽化: () 写真NO.4

調査位置: (スパンNO.)

所見:

撮影年月日: 令和 年 月 日

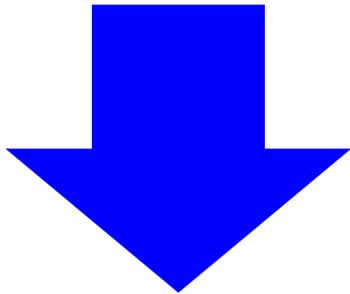
チェックシート(様式5)と
写真記録シート(様式6)を1つに
まとめ、施設種類ごとにシートが
用意されている
(見やすい & 記録の効率化)

【その他特記事項】

日常点検に必要な知識

■ 日常点検のポイント

- ☑ 老朽化の進行確認、新たな老朽化箇所の発見、が目的
- ☑ 全対象施設・全スパンを点検する
- ☑ 施設の健全度、スパンの老朽化度に応じ、点検内容を重点化



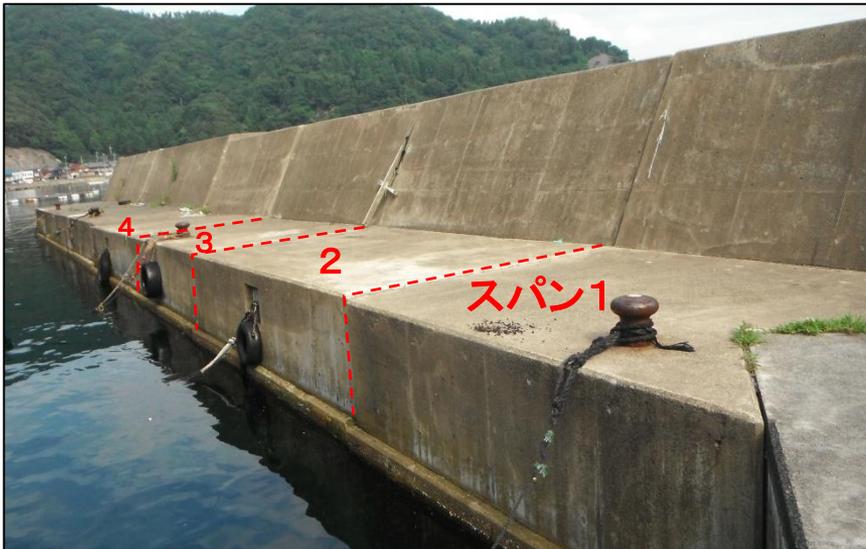
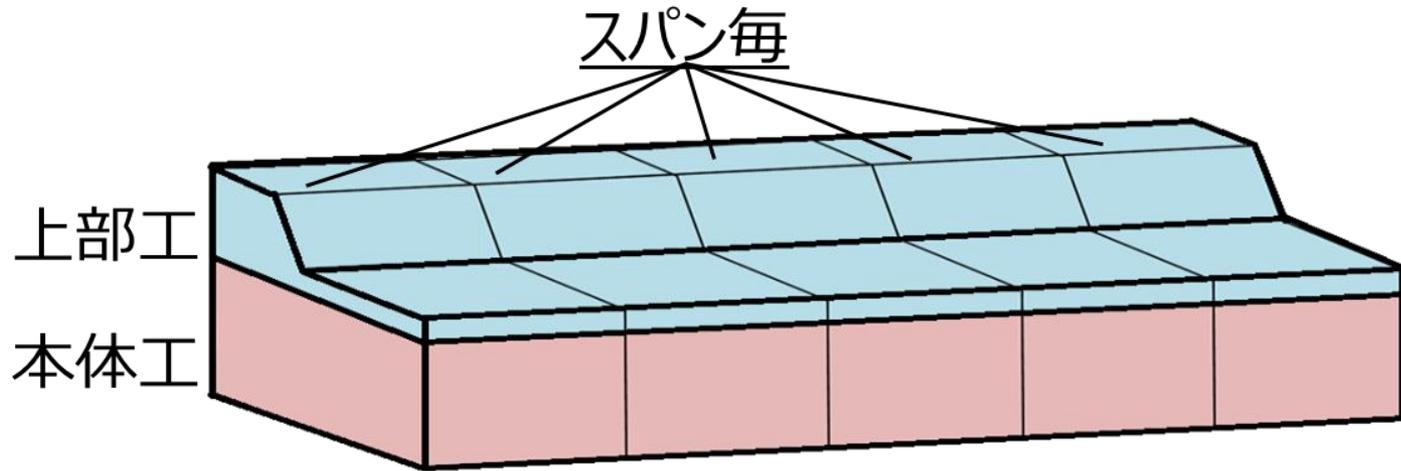
新様式や点検の重点化で効率化された。
ただし、判断には一定の知識が必要となった。

■ 必要となる基礎知識

- ☑ スパン割の考え方
- ☑ 健全度と老朽化度
- ☑ 点検箇所と部材
- ☑ 老朽化度の判断基準 ⇒ 効率化のために判断が必要となる

日常点検に必要な知識

■ スパン割の考え方



左図: スパン割の例

- ☑ 上部工の目地で切ることを基本とする
- ☑ 設定したスパンが各種点検の際の基本区分となる

日常点検に必要な知識

■ 健全度と老朽化度

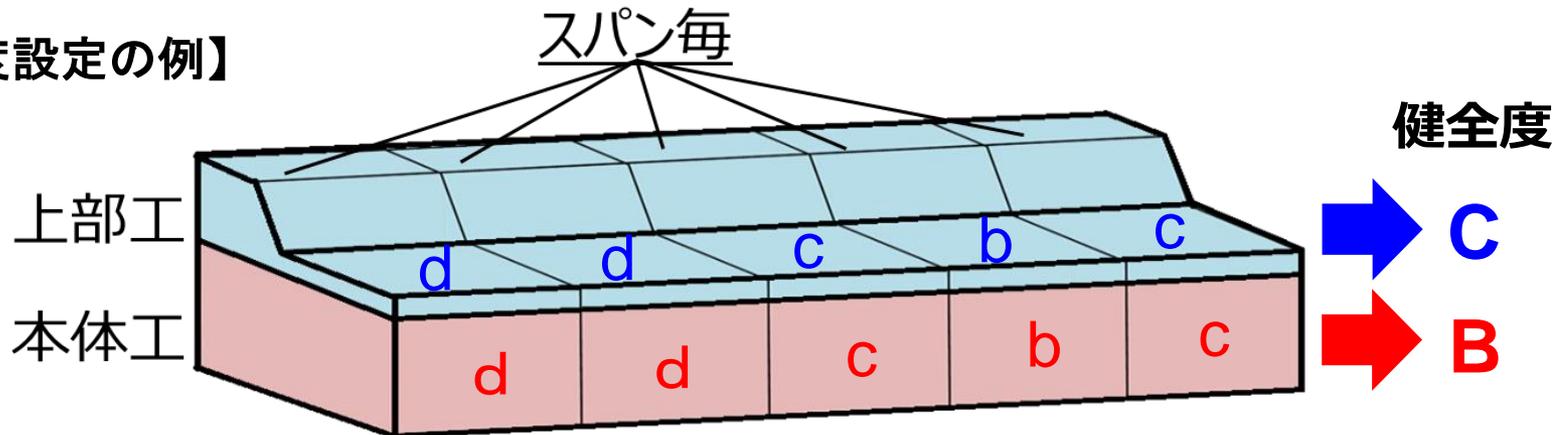
スパン・部材

施設全体

老朽化度	部材の性能低下の状態	健全度	施設の状態
a	部材の性能が著しく低下している状態	A	施設の主要部に著しい老朽化が発生しており、施設の性能が要求性能を下回る可能性のある状態。
b	部材の性能が低下している状態	B	施設の主要部に老朽化が発生し性能の低下が認められ、予防的対策を施さないと将来要求性能を下回る恐れがある状態。
c	部材の性能低下はないが、老朽化が発生している状態	C	軽微な老朽化は発生しているものの施設の性能に関わる老朽化は認められず、性能を保持している状態。
d	老朽化が認められない状態	D	施設に老朽化は認められず、十分な性能を保持している状態。(当面、性能の低下の可能性がない状態)



【健全度設定の例】



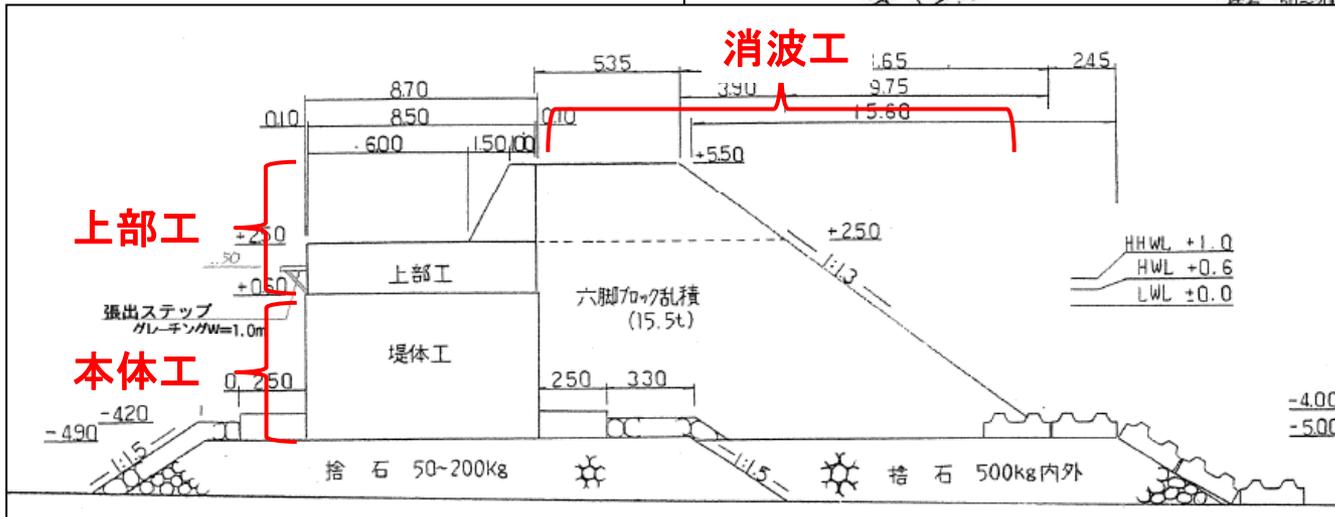
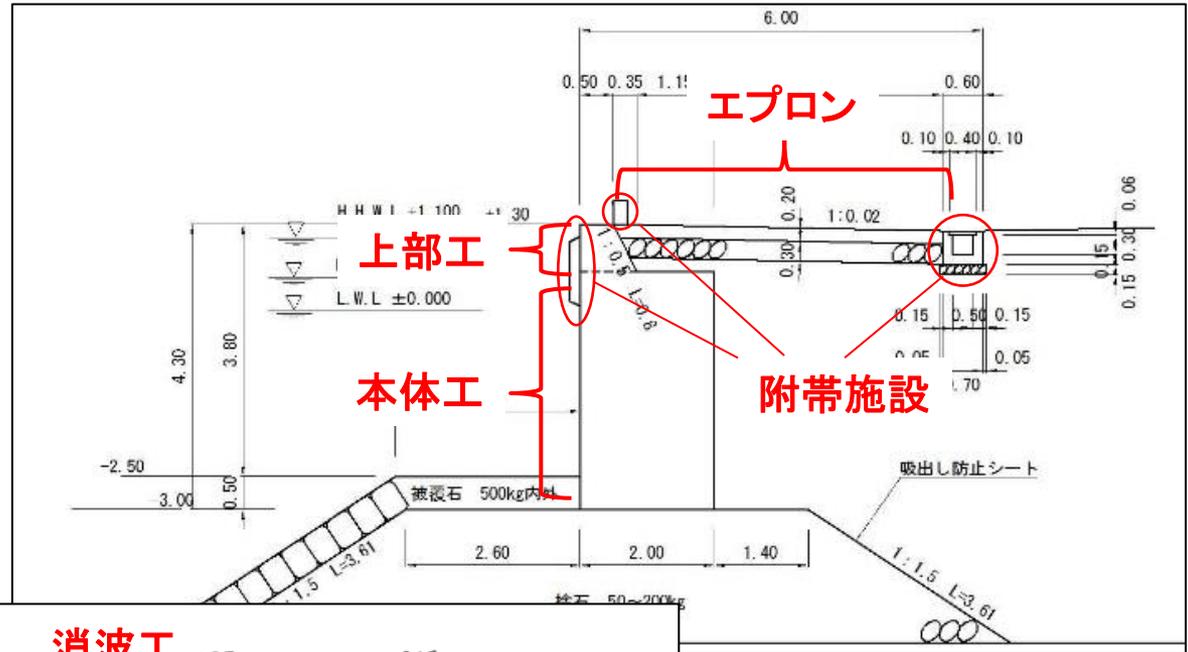
日常点検に必要な知識

■ 点検箇所と部材

部材の基本的な考え方

例1: 物揚場(右)

例2: 防波堤(下)



日常点検に必要な知識

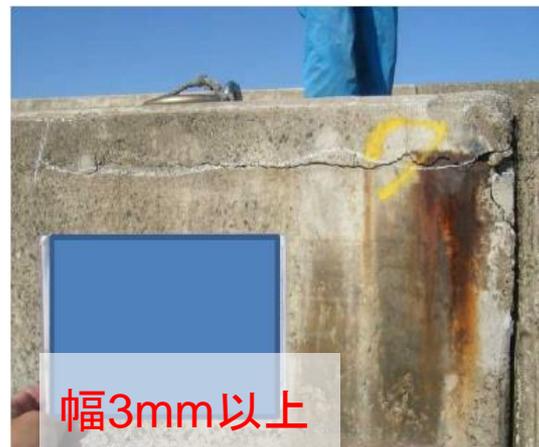
■ 老朽化度の判断基準（代表的変状例）

【ひび割れ（老朽化度b～a）】

外郭施設上部工（無筋）



外郭施設本体工（RC）



エプロン（コンクリート）



同じひび割れでも、施設種類や構造形式で老朽化度b以上の判定基準が異なる点に留意

※詳しくは「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」様式7を参照

日常点検に必要な知識

■ 老朽化度の判断基準(代表的変状例)

【欠損(老朽化度b~a)】



【発錆・開孔(老朽化度b~a)】



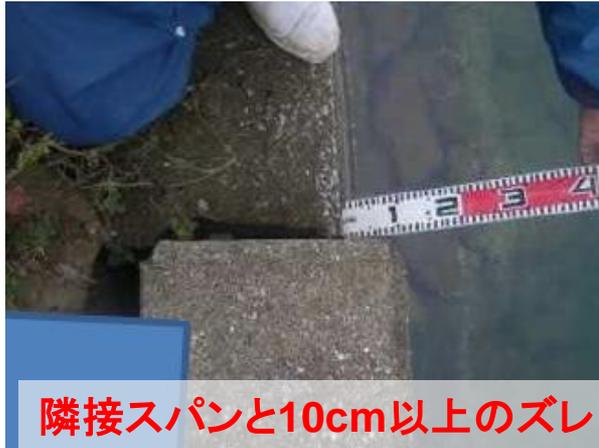
※詳しくは「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」様式7を参照

日常点検に必要な知識

■ 老朽化度の判断基準（代表的変状例）

【施設全体の移動・沈下（老朽化度b～a）】

外郭施設



外郭施設上部工



【エプロンの沈下（老朽化度b～a）】



※詳しくは「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」様式7を参照

日常点検の実施

■ 日常点検実施の手順

日常点検の実施は下の3つの手順に大別できるが、特に現場に行く前の事前準備を整えることで、日常点検全体の効率・質を向上できる

・ 事前準備

- ☑ 事前に対象漁港・施設の状況を把握し、必要な備品等を確認することで現地での点検や結果の記録がスムーズに進む

・ 点検作業

- ☑ 事前準備で把握した情報を元に、安全に配慮して効率的に点検を進める

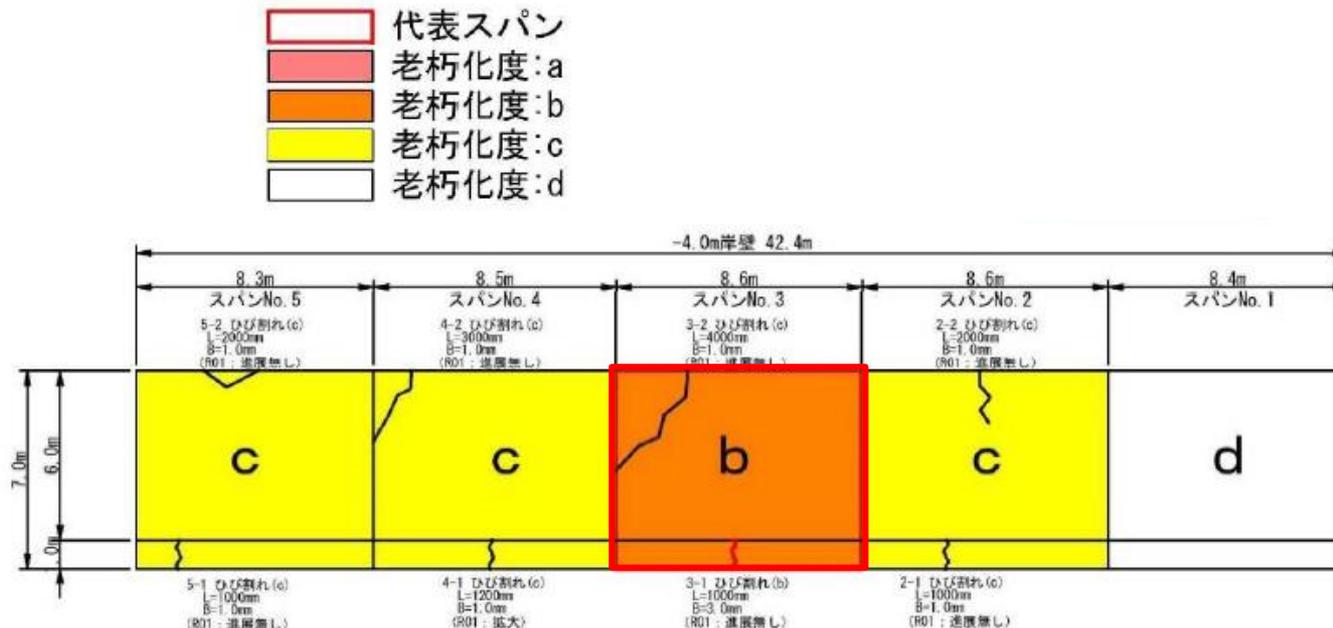
・ 結果の記録

- ☑ 施設の状況変化の把握、担当変更における引継ぎの面からも、重要となる

日常点検の実施（事前準備）

■ 代表スパンの選定

- ☑ 直近の定期点検で健全度A・Bの施設は、施設の機能低下に影響の大きい老朽化度aまたはbのスパンを代表スパンとして日常点検時のモニタリングスパンとする（代表スパンは複数でも良い）
- ☑ 代表スパン以外のスパン（健全度C・Dの施設含む）では踏査により、新たな a・b 相当の変状を記録することとなる



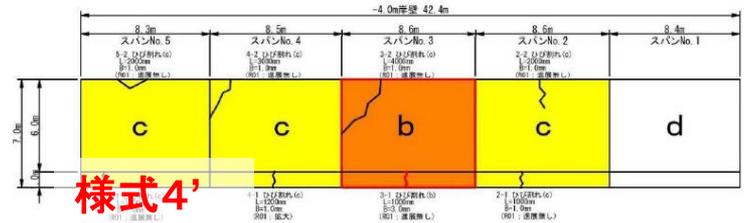
日常点検の実施 (事前準備)

■ 前回点検結果の確認

☑ 前回の日常点検時の「様式4」
(もしくは定期点検時の損傷図)
で代表スパンを確認する

☑ 前回の「日常点検記入シート」
(もしくは従来の様式5・6)
で主な変状を確認する

☑ 従来様式1～3にて、施設の
構造形式等を確認



様式4'

漁港施設履歴調査 (コンクリート構造物諸元等) 【様式1-2】

様式更新年月日	平成 28 年 12 月 5 日	
調査年月日	平成 28 年 9 月 20 日	
都道府県	〇〇県	
施設管理者	△△町	
漁港番号	××××	
漁港名	●●漁港	
施設名称	3 内北防波堤	
所在地 (市町村)	△△町	
平面図対象番号	3	
区分	-	
施設建設年月日	昭和57年～昭和58年	
供用年月日	-	
施設構造	構造	直立式
	主要用材	コンクリート
	その他構造	
	延長	30.0 m
	幅員	5.6 m
	天端高	+3.022 m
	計画水深	-1.78 m
規模	面積	168.0 m ²
	その他数量	

様式1 (抜粋)

水産基盤施設 日常点検記入シート 【②係船施設(重力式・矢板式・橋構式)】

調査結果記入シート(健全度の評価単位で作成) 直近の定期点検実施日:平成〇年〇月〇日(健全度〇)

調査年月日: 令和 〇 年 〇 月 〇 日 天候:(晴)曇 雨

漁港名: ▲▲漁港 構造形式: 重力式 調査者所属: ●●建設事務所 調査者氏名: 水産 太郎

施設名: ■■■物揚場 調査を実施した範囲: 施設全体(スパンNO.1～NO.32)

各項目に対して、該当する欄をチェックする。(例:■)

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類	有無	状況(スパンNo.)
重力式係船岸 矢板式係船岸 橋構式係船岸	岸壁(橋構)法線	■	凹凸、出入り	<input type="checkbox"/>	
	エプロン	■	沈下・陥没	<input type="checkbox"/>	
		■	コンクリートの劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
	上部工	■	コンクリートの劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
附属施設	本体工(重力式の場合)	■	コンクリートの劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
	矢板・杭	<input type="checkbox"/>	腐食・亀裂・損傷等	<input type="checkbox"/>	
	護舷(注)	<input type="checkbox"/>	損傷・変形	<input type="checkbox"/>	
	防敵材	■	損傷・変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
係船柱・係船環	車止め	<input type="checkbox"/>	損傷・変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	照明設備	■	損傷・変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	排水設備	■	損傷・変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	階段・梯子	■	損傷・変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	

(注)「護舷」は「橋構式係船岸」に限定

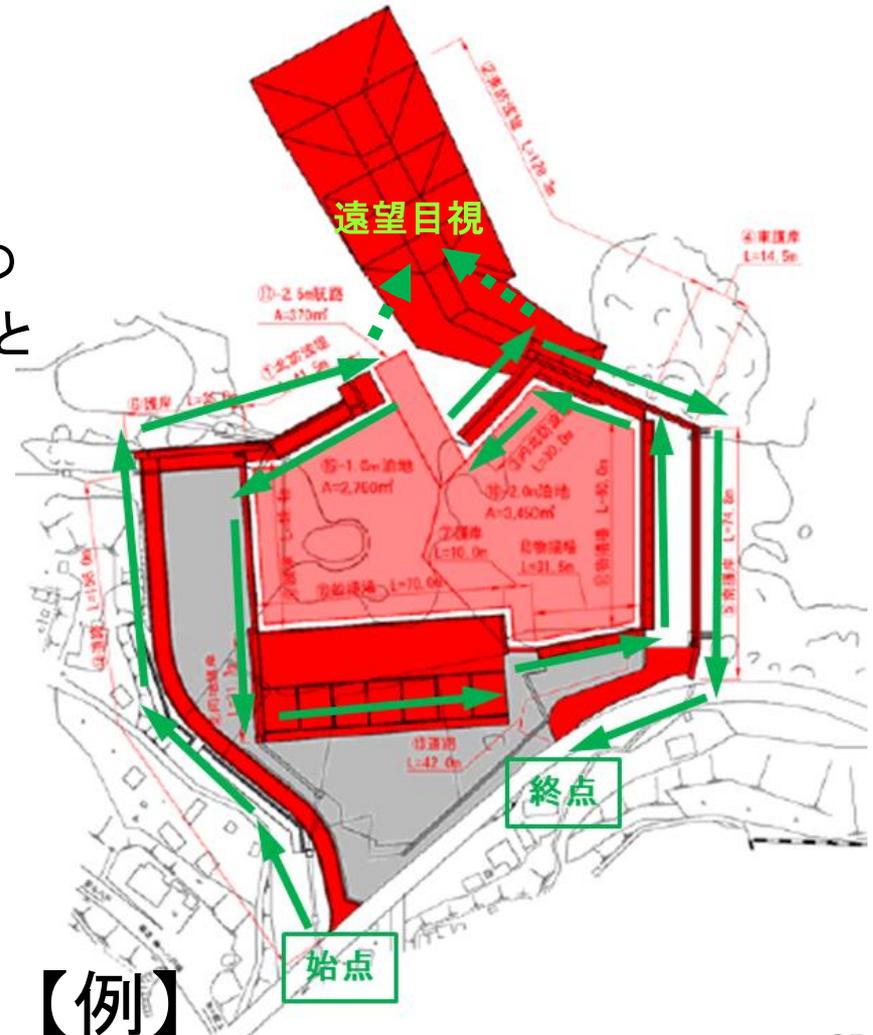
日常点検記入シート(抜粋)

老朽化: 調査位置: 起点から撮影 (スパンNO.) 所見: 前回点検からの進行や新たな変状は見られない	写真NO.1	老朽化: 調査位置: 終点から撮影 (スパンNO.) 所見: 前回点検からの進行や新たな変状は見られない	写真NO.2
撮影年月日: 令和 〇 年 〇 月 〇 日		撮影年月日: 令和 〇 年 〇 月 〇 日	

日常点検の実施（事前準備）

■ 点検順路の確認

- ☑ 日常点検をより効率的に行うため、
予め点検順路を想定しておく
- ☑ 踏査可能な全施設を歩くことになるため
余計な移動を極力避けることで、時間と
体力消耗を抑えることができる

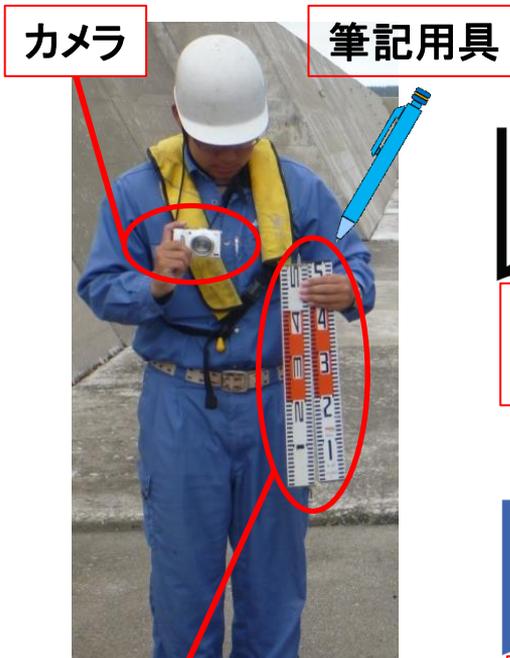


【例】

日常点検の実施（点検作業）

■ 持ち物・装備等

- ☑安全面に配慮した動きやすい服装で実施する
- ☑可能であれば2人1組での点検が望ましい



前回の点検様式
(様式4'、日常点検記入シート)



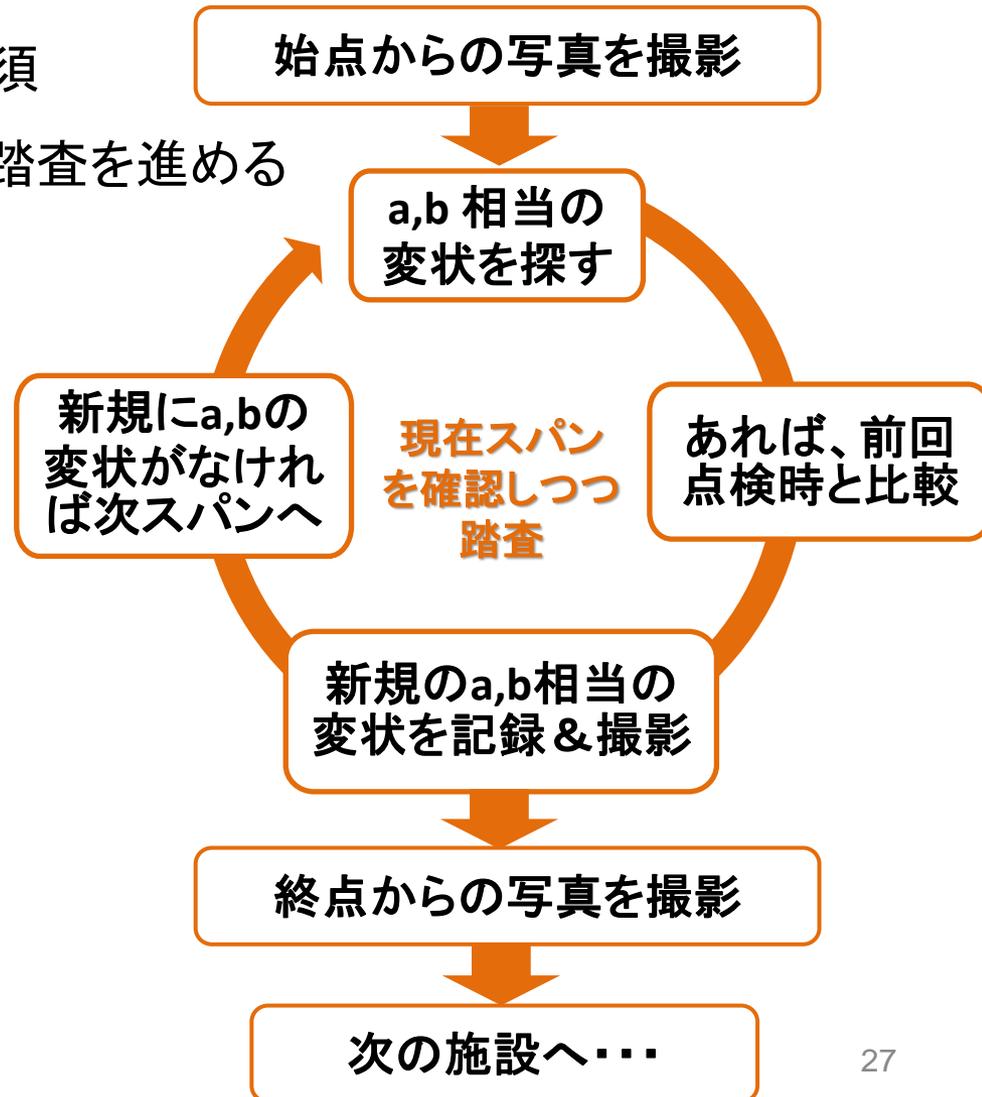
記入用の点検様式
(様式4'、日常点検記入シート)

スタッフ等
(スケールの分るもの)

日常点検の実施（点検作業）

■健全度C・Dの施設の点検

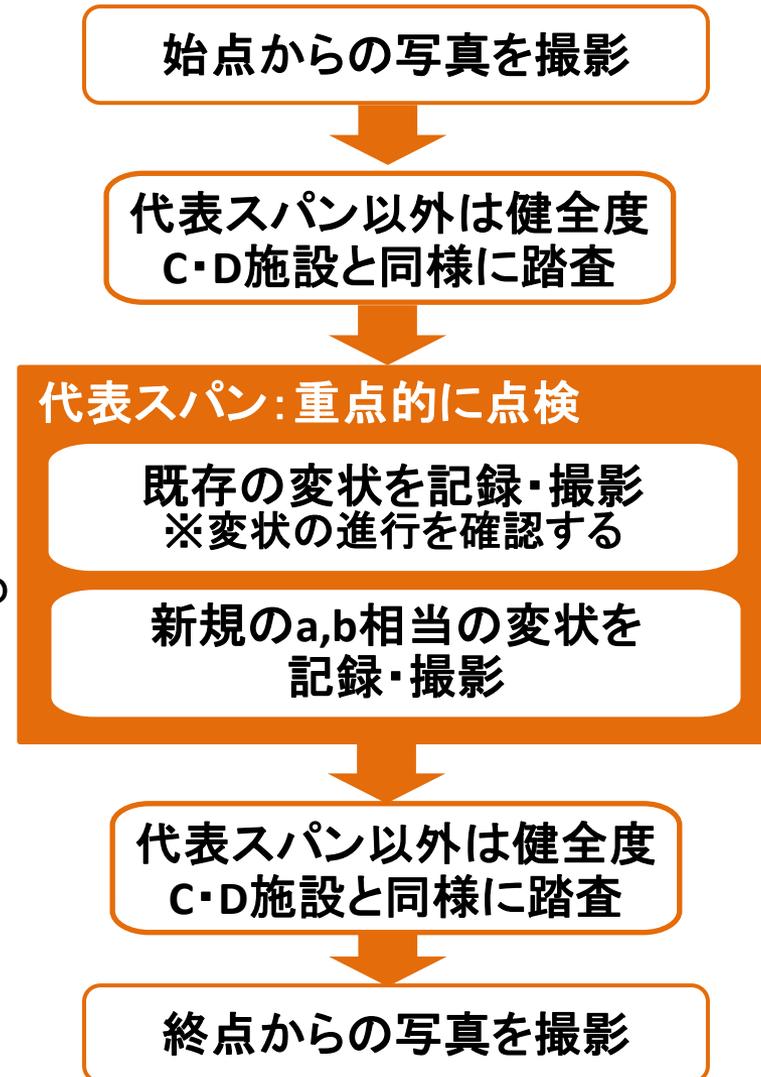
- ☑施設の始点・終点からの撮影は必須
- ☑新規のa,b相当の変状がなければ踏査を進める
- ☑新規のa,b相当の変状があれば
様式に記録し、撮影する
- ☑撮影時は前回同様のアングル
とすると変化が見やすい



日常点検の実施（点検作業）

■健全度A・Bの施設の点検

- ☑施設の始点・終点からの撮影は必須
- ☑代表スパン以外のスパンは健全度C・Dの施設と同様に踏査
- ☑代表スパンでは**既存の**a,b相当の変状は**老朽化の進行の有無**を記録・撮影する
- ☑代表スパンにて**新規の**a,b相当の変状を確認した場合も記録・撮影し、追加する
- ☑撮影時は前回同様のアングルとすると変化が見やすい



日常点検の実施（点検作業）

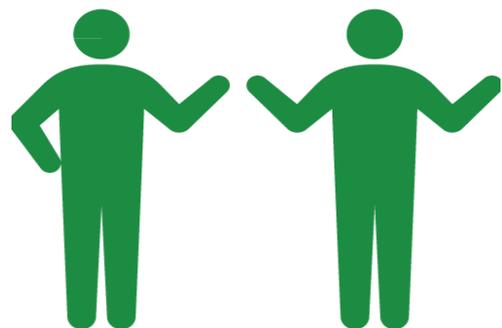
■ 立ち入っての点検が難しい施設

- ☑ 消波ブロック構造の防波堤や沖防波堤等の踏査に危険が伴うもしくは上陸できない施設は遠望目視によって点検を実施する
- ☑ UAV（ドローン）や点検用船舶を用意できる場合は活用して点検を実施しても良い



日常点検の実施（点検作業）

■ 施設利用者へのヒアリング



利用者ヒアリング

- 泊地利用に支障はないか？
- 施設周辺に不自然な堆積物がないか？
- その他の施設での気づき

特に水域施設は漁業者からの情報が主となる

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類	有無	状況(スパンNO.)
航路・泊地	水面	<input checked="" type="checkbox"/>	流木等漂流物	<input type="checkbox"/>	
	水深	<input checked="" type="checkbox"/>	水深不足による利用上の支障	<input checked="" type="checkbox"/>	●●岸壁端の前面に堆砂している

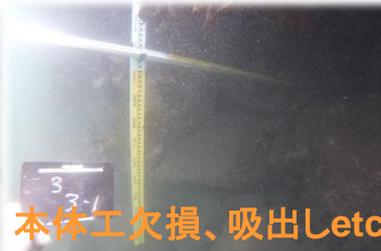


水域施設の堆砂

変状の予兆を把握できる可能性も



エプロンの陥没



本体工欠損、吸出しetc

日常点検の実施（点検作業）

■ 応急措置



(例) エプロンが大きく沈下

日常点検で利用者の安全を確保できない変状を発見



立ち入り禁止措置、注意喚起(看板等)で応急的対応



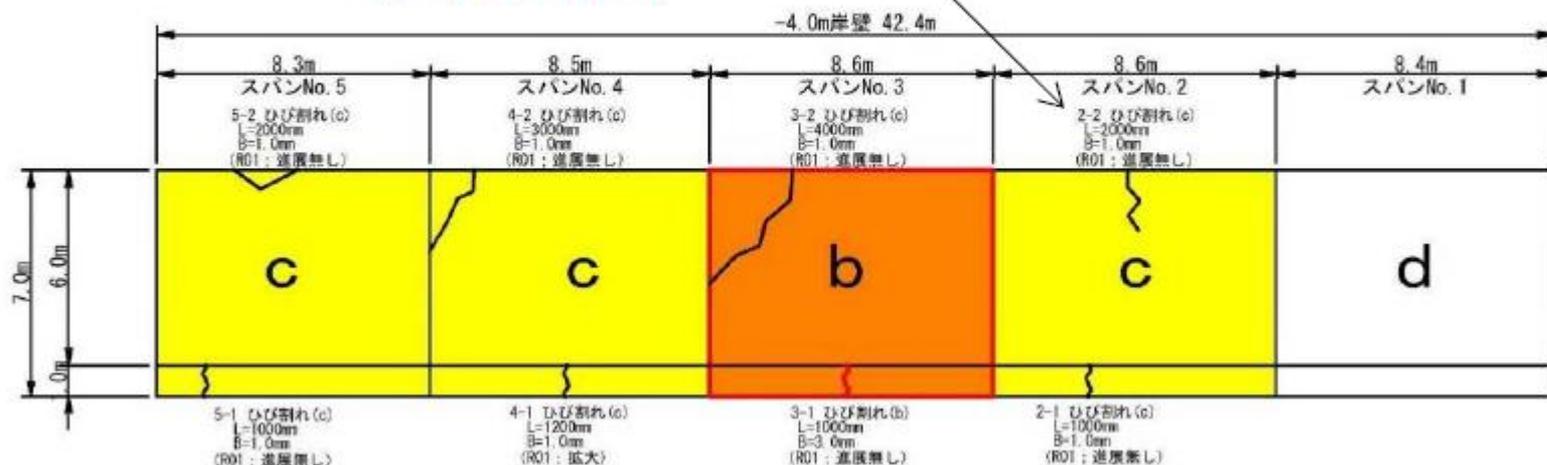
応急措置の例

日常点検の実施（点検結果の記録）

■様式4'の更新

- ☑新規の変状や、代表スパンにおける既存の変状の進行、を記録し様式を更新する
- ☑紙媒体・電子媒体（紙媒体のスキャンで可）それぞれでの保存が望ましい

最大老朽化度の進展 (c→b) ➡ 新規のa,b相当の変状
ひびわれの老朽化の進展
(令和●年▲月■)



日常点検の実施（点検結果の記録）

■ 日常点検記録シートへの記録（健全度C・Dの施設）

➡5種類あるシートから対象施設に適したシートを選択し、結果を記入する

現地点検で確認・ヒアリングした老朽化をシートに記録する

健全度C・Dの記入例 水産基盤施設 日常点検記入シート（係船施設（重力式・矢板式・棧橋式））

調査結果記入シート：健全度の評価単位で作成 直近の定期点検実施日：平成〇年〇月〇日（健全度C）

調査年月日：令和 〇 年 〇 月 〇 日 天候：(晴)曇雨

漁港名：▲▲漁港 構造型式：重力式 調査者所属：◆建設事務所 調査者氏名：水産 太郎

施設名：■物揚場 調査を実施した範囲：施設全体(スパンNO.1～NO.32)

各項目に対して、該当する欄をチェックする。(例：■)

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類	有無	状況(スパンNo.)
重力式係船岸 矢板式係船岸 棧橋式係船岸	岸壁(棧橋)法線	■	凹凸、出入り	<input type="checkbox"/>	
	エプロン	■	沈下・陥没	<input checked="" type="checkbox"/>	No.15
		■	コンクリート、舗装等の劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
	上部工	■	コンクリートの劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
	本土工(重力式の場合)	■	コンクリートの劣化・損傷	<input type="checkbox"/>	
	矢板・杭	<input type="checkbox"/>	腐食・亀裂・損傷等	<input type="checkbox"/>	
附帯施設	渡版(注)	<input type="checkbox"/>	損傷・塗装	<input type="checkbox"/>	
	防舷材	■	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	係船柱・係船環	■	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	車止め	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	照明設備	■	損傷、変形、腐食、破損等	<input checked="" type="checkbox"/>	No.8
	排水設備	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	階段・梯子	■	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	

(注)「渡版」は「棧橋式係船岸」に限定

老朽化：()	写真NO.1
調査位置：起点から撮影 (スパンNO.)	
所見：前回点検からの進行や新たな変状は見られない	
撮影年月日：令和 〇 年 〇 月 〇 日	

老朽化：()	写真NO.2
調査位置：終点から撮影 (スパンNO.)	
所見：前回点検からの進行や新たな変状は見られない	
撮影年月日：令和 〇 年 〇 月 〇 日	

老朽化：段差(沈下) b判定相当	写真NO.3
調査位置：エプロン (スパンNO. 15)	
所見：段差(沈下)がある。【新規発見】	
撮影年月日：令和 × 年 × 月 × 日	

新たな変状を発見した場合は様式に記載する

利用者に聞き取りを行い、利用上支障がないか確認する。

【その他特記事項】
スパンNo.8にある照明の灯りが消えている。(漁業者ヒアリング)

(例)様式上段

(例)様式下段

日常点検の実施（点検結果の記録）

■ 日常点検記録シートへの記録（健全度A・Bの施設）

➡5種類あるシートから対象施設に適したシートを選択し、結果を記入する

代表スパンの変状は他のスパンと
区別して見れるようにする

老朽化:	写真NO.1	老朽化:	写真NO.2
調査位置: 起点からの撮影 (スパンNO.)		調査位置: 終点からの撮影 (スパンNO.)	
所見: 前回点検からの進行や新たな変状は見られない		所見: 前回点検からの進行や新たな変状は見られない	
撮影年月日: 令和○年○月○日		撮影年月日: 令和○年○月○日	
			

踏査を行い、起
終点から施設
の写真撮影
する

老朽化: (ひび割れ) 定期点検時b判定	写真NO.3	老朽化: (水平移動) 定期点検時b判定	写真NO.4
調査位置: 上部工 (スパンNO. 10)		調査位置: 施設全体 (スパンNO. 12)	
所見: 幅の広いひび割れがあるが、前回と大きな差異は認められない。		所見: 大きな水平移動があるが、前回と大きな差異は認められない。	
撮影年月日: 令和○年○月○日		撮影年月日: 令和○年○月○日	
			

代表スパンを選
定し、スパン写
真とその状況を
記載する。

【その他特記事項】
スパンNo.15辺りの港内側に堆砂が進んでいて、干潮時には波の条件によっては船底がこすることがある。(漁業者ヒアリング)
利用者に聞き取りを行い、利用上支障がないか確認する。

健全度A・Bの記入例 産基盤施設 日常点検記入シート 【①外郭施設(重力式・矢板式・杭式)】

調査結果記入シート: 健全度の評価単位で作成 直近の定期点検実施日: 平成○年○月○日 (健全度B)

調査年月日: 令和○年○月○日 天候: 晴(曇)雨

漁港名	▲▲漁港	構造型式	重力式防波堤	調査者所属	◆◆建設事務所	調査者氏名	水産 太郎
施設名	■■防波堤	調査を実施した範囲	施設全体(スパンNo.1~No.20) 代表スパンNo.10,12				

各項目に対して、該当する欄をチェックする。(例:■)

対象施設	調査位置	該当	老朽化の種類	有無	状況(スパンNo.)
重力式防波堤 重力式護岸	施設全体	<input checked="" type="checkbox"/>	移動	<input checked="" type="checkbox"/>	水平移動(No.12)
	本體工	<input checked="" type="checkbox"/>	沈下	<input type="checkbox"/>	目地のずれ、段差
矢板式防波堤 杭式防波堤 矢板式護岸	施設法線	<input type="checkbox"/>	凹凸、出入り	<input type="checkbox"/>	
	矢板・杭	<input type="checkbox"/>	腐食・亀裂・損傷等	<input type="checkbox"/>	
共通	上部工	<input checked="" type="checkbox"/>	コンクリートの劣化、損傷	<input checked="" type="checkbox"/>	ひび割れ(No.10)
	消波工	<input type="checkbox"/>	移動・沈下、損傷・亀裂	<input type="checkbox"/>	
護岸の場合	背後地	<input type="checkbox"/>	陥没、吸出し	<input type="checkbox"/>	
	防絨材	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
附帯施設	係船柱・係船環	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	車止め	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	照明設備	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	排水設備	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	
	階段・梯子	<input type="checkbox"/>	損傷、変形、腐食、破損等	<input type="checkbox"/>	

(例)様式上段

(例)様式下段

日常点検の実例（健全度C・Dの施設）



日常点検の実例（健全度A・Bの施設）

